

市町村における市内ネットワークの現状について（経過報告）

平成15年6月23日
企画局情報政策課

1 概況

平成15年3月に行った調査において、住基ネットシステムが、インターネット接続のある市内LANと接続されていると回答した27の自治体を対象に、市内ネットワークの現状を確認するとともに、セキュリティレベルの向上について助言を行った。

なお、出席者については、市内ネットワーク管理担当課及び住基ネット担当課職員のほか、現場の実態を把握してもらうため、可能な限り自治体の長や助役にも出席を頂いた。

2 訪問月日

平成15年6月4、5、9、10、11、18、19日

3 助言内容

市内ネットワークのセキュリティレベル向上の観点から、次の事項を説明し、インターネットとの接続を分離することについて助言した。

- ・インターネット接続の危険性
- ・ファイアウォールの脆弱性
- ・情報セキュリティ対策の徹底（情報セキュリティポリシーの策定等）
- ・その他意見交換

4 27自治体の現況

別紙のとおり

別紙

27自治体の現況(平成15年6月20日現在)

番号	対応方針等	接続形態	インターネットとの分離に関する各自治体の考え方
1	分離決定(8)	A	7月に分離。元々セキュリティを向上させたいと考えていたのでよい機会になった。
2		A	8月に分離。利便性を落とさないよう検討し分離する。
3		A	9月に分離。基幹系の台数を限定しながら分離する。
4		A	12月に分離。自治体のネットワーク整備事業と併せて実施する。
5		A	インターネットを切り離す方向で、9月議会で予算案を出す予定。 なお、どこまでやればOKとなるのか不安がある。
6		A	インターネットと分離する方向で、9月議会で予算案を出す予定。 それと平行して業者の選定とシステムの設計をすすめていく。
7		A	インターネットとの分離方法を検討中。予算が確保できれば早期に対応する(9月)
8		B	今年度中に分離。現在、業者から見積りを取っている。
9	分離検討中(8)	A	インターネットと分離することにより、それを利用できる端末が少なくなるので、利便性をどう確保するか検討中。
10		A	インターネットと分離する方向であるが、財政が厳しいなかでどう理由付けし、どのデータを守るための改編をするか検討中。
11		A	IDSを導入し、管理者が監視しており、十分な対策をしてきたと自負しているが、さらにセキュリティを向上すべく、インターネットとの分離を検討中。
12		B	独立した基幹系ネットワークの回線敷設等について見積りを取っているところであり、それにより予算化を検討する。
13		B	インターネットとの分離に伴うパソコン増について、財源の検討を行っている。
14		B	インターネットと分離する方向で、できる限りコストのかからない方法を検討中。
15		B	インターネットと分離する方向だが、予算確保が厳しく、県の方向性が決まるのを待って対応する予定。
16		B	インターネットと分離する方向だが、できる限り現在の環境を活かしながら構築する方法を検討中。
17	方針未定(5)	B	ネットワーク構築について、方針を出してもらわないと、先が見えず予算化が困難。
18		B	予算、ネットワークの構築について検討会を設け検討中。
19		B	財政が厳しく、明確な方針が示されないと、予算付けが困難。
20		B	本当に危険なのかははっきりせず、現段階では踏み切れない状態。 保守管理業者とは、改善方法の打合せを行っている。
21		A	L3スイッチにより分離しているという認識だったので、その場合でも危険であるということについて検討中。
22	分離予定なし(2)	B	FW監視強化(設定の把握、ログ管理)、及び問題発生時の迅速な対応によりセキュリティを確保する。
23		B	FW監視強化(設定の把握、ログ管理)、及び問題発生時の迅速な対応によりセキュリティを確保する。
24	接続なし(4)	C	情報系(インターネット接続あり)と基幹系(住基CSとの接続あり)とが、実際は分離されているにもかかわらず、両者を併せて「庁内LAN」と理解していたために、庁内LAN経由で「インターネットとの物理的な接続あり」と回答されていたもの等
25		C	
26		C	
27		C	

【接続形態について】

- A：基幹系・情報系2系統のLANが、FW等を介して接続され、情報系がインターネットに接続されているもの
 B：基幹系・情報系が同一のLAN上に構築され、インターネットに接続されているもの
 C：現地調査において、インターネットとの接続がないことを確認したもの